

佐治川流域安全確保のロードマップ

項目	短期(概ね1年)	中期(概ね3年)	長期(3年以上)
I 防災意識	集落の防災活動の支援	以降継続	
	防災情報の積極的な情報発信	以降継続	
II 避難所、避難路	広域避難路の状況確認、バイパス整備等の検討		
	指定避難所以外の安全な一時避難所の確保(集会所や個人宅等)		以降継続
	避難者のニーズに即した備蓄品の提供体制の構築等		以降継続
	早期や分散避難の呼びかけ等	以降継続	
III 防災情報発信、ダム情報の周知	WEBサイトの工夫・ダム管理回覧等	以降継続	
	家屋危険倒壊ゾーンの公表	以降継続	
IV 緊急時の情報伝達、安否確認	安否確認等の取組支援	以降継続	
	「音声告知端末」を通じたダム放送の検討		以降継続
	放送サイレン内容の周知	以降継続	
	地元とのホットラインの構築検討	以降継続	
	放送サイレンの見える化(多色パトライトの設置等)の検討		以降継続
V ダム操作・河川整備等	ダムの構造・機能・操作方法の周知	以降継続	
	早期の事前放流	気象予測と流入量予測システムの精度改善	
	災害復旧の推進と施設弱部の機能強化の検討、及び河道掘削の実施		
★ その他	防災意識の向上×ダム機能の周知×防災訓練×ダムの魅力発信＝流域の防災力向上 流域の特徴でもある「ダムを基軸とした、コミュニケーションの場の創造と提供の取組」の推進		